



鷹のように帆をあげて

みと こうだんしゃ
まはら三桃作 講談社

「タカ、飼いたいいっちゃけど」理央は、両親が帰ってくるなり話を切り出した。親友の遥を事故で亡くし、気持ちの沈んでいた理央は、遥が一目ぼれしたタカのヒナを育てることに決めたのだ。娘が元気になることを願って、両親は飼うことを許してくれた。モコと名づけて育て始めるが、エサや訓練方法など、わからないことばかり。理央が試行錯誤を重ねるなかで、モコは次第に飛ぶことを覚えていく。空のかなたにいる遥に、モコが大空へ羽ばたく姿を見せたい。理央の思いは届くのだろうか。

